

平成29年度（橋本高校）不祥事ゼロプログラム実施状況

○ 項目・目標別実施結果

項 目	目 標	実施結果と目標の達成状況
(1) 法令遵守意識の向上	教育公務員としての自覚を持ち公務外非行を未然に防止する。	○公務員としての倫理意識を持ち行動した。 ○事故防止会議等において啓発資料を基に法令遵守意識の向上を図った。 ○職員同士が注意し合える環境作りを行った。
(2) わいせつ・セクハラ行為の防止	人権に配慮し、わいせつ・セクハラ行為を未然に防止する。	○外部講師による研修会を実施。 ○個人情報の収集・登録・管理・廃棄を条例に基づき行った。 ○密室化しないよう環境の整備を行った。
(3) 体罰、不適切な指導の防止	生徒の人権を尊重し体罰や不適切指導を未然に防止する。	○職員視点での職員主体の研修会を実施。 ○教員保護者の連絡を密にして情報を共有した。 ○複数の顧問で指導にあたった。
(4) 成績処理及び取扱いに係る事故防止	成績処理に係る確認作業を適正に行い、事故を未然に防止する。	○職員視点での職員主体の研修会を実施。 ○チェック体制を整備し点検の精度を高めた。 ○過去の事故事例を参考にして事故を未然に防止した。
(5) 進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止	進路関係書類の作成・取扱いにおいて適切な業務遂行の体制を整え事故を未然に防止する。	○職員視点での職員主体の研修会を実施。 ○書類の決裁手順を確認し書類の記載ミスや誤送付、提出期日の失念を未然に防いだ。 ○複数の目によるチェックを複数回行い、チェック記録により、責任の所在の明確化を図った。
(6) 個人情報等の管理、情報セキュリティ対策の整備	個人情報の流失を未然に防止するとともに、各種情報の管理を徹底する。	○職員視点での職員主体の研修会を実施。 ○外部記録媒体の管理を貸出し簿で行い定期的にチェックした。 ○個人情報の持ち出しは所定の手続きで行った。
(7) 交通事故防止、酒酔い・酒気帯び運転防止、交通法規の遵守	交通事故の発生、酒酔い・酒気帯び運転の発生をゼロにする。	○年末・年始をはじめ時期をとらえ、職員全員を対象に啓発資料で注意喚起を行った。 ○過去の事故事例を参考にして事故を未然に防止した。
(8) 業務執行体制の確保（情報提供・相互チェック体制・業務協力体制）	業務執行を適正に行い、生徒の進路関係・奨学金の出願資格の見落としや記載ミスを未然に防止する。	○学年と所轄グループの連携を深めチェック体制を整備し事故を未然に防いだ。 ○進行管理のもとに起案・決裁等を確実にを行った。 ○管理職・総括教諭への報告・連絡・相談体制、協力体制を確立した。
(9) 会計事務等の適正執行	会計事務を適正に行い、事故を未然に防止する。	○年度当初に職員全員を対象に職場研修を行った。 ○公費と私費の区分で一部不適切な執行が見られた。 ○現金の扱いについて一部不適切な処理があった。

○ 平成29年度不祥事ゼロプログラムの達成状況及び平成30年度に取り組むべき課題

平成29年度に関しては入学者選抜業務を含め事故を未然に防止することができた。背景には管理職主導の研修会だけでなく教員視点に立った教員主体の研修会があるので、平成30年度も継続していきたい。